

会期
2024
(令和6年)

4月4日(木) ▶ 6月16日(日)

【前期】4月4日(木) - 5月6日(月・祝)

【後期】5月10日(金) - 6月16日(日) ※前後期全点入れ替え

春季特別企画展
没後160年記念

三代歌川豊国

「人物」と「街道」を描く

Spring
Special
Exhibition

Legacy of Utagawa Toyokuni III: Portraits and Highways

—Commemorating the 160th
Anniversary of his Death

【Exhibition dates】

April 4th (Thu) - June 16th (Sun)

Period I:

April 4th (Thu) - May 6th (Mon/Public Holiday)

Period II:

May 10th (Fri) - June 16th (Sun)

中山道広重美術館
Hiroshige Museum of Art, Ena

春季特別企画展
没後160年記念

三代歌川豊国 「人物」と「街道」を描く

4月4日(木) ▶ 6月16日(日)

【前期】4月4日(木) - 5月6日(月・祝)
【後期】5月10日(金) - 6月16日(日)
※前後期全点入れ替え

会期
2024
(令和6年)



Spring Special Exhibition Legacy of Utagawa Toyokuni III: Portraits and Highways

[Exhibition dates] April 4th (Thu) - June 16th (Sun) Period I: April 4th (Thu) - May 6th (Sun)

観覧料 一般/820円(660円) ()内は20名以上の団体料金
▲18歳以下、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(ただし4月29日、5月6日は除く)、5月7日(火)～9日(木)
主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館
後援 朝日新聞社

【関連イベント】

■学芸員による作品ガイド
日時:前期4月21日(日)、後期5月19日(日) 各日午前10時30分から40分程度
場所:展示室1、2(1、2F)
■美術館ボランティア幽遊会による概要説明
日時:随時(要事前予約)

三代歌川豊国(初代国貞、1786-1864)は、江戸時代末期に最も人気を得た浮世絵師です。初代歌川豊国へ入門後、国貞時代から頭角を現し、幅広いジャンルで筆を振るいました。特に人気の歌舞伎役者を描く役者絵や、美しい女性を描く美人画など人物描写を得意とし、長い画業の中で不動の名声を確立しました。

本展では、豊国の号を襲名後の街道シリーズに注目し、「木曾六十九駅」(嘉永5年/1852)と「双筆五十三次」(安政元年/1854)をそろいで出展します。「木曾六十九駅」は、同年刊行された「東海道五十三次之内」(通称 役者見立東海道)の大当たりを受け、中山道版として刊行が開始されました。両シリーズともに、宿場風景を背景に役者の半身像が大きく描かれる点が特徴といえます。この「1枚で2度おいしい」シリーズは、たちまち好評を博しました。また、「双筆五十三次」は、背景となる東海道の風景を歌川広重が、前景の人物を三代豊国が担当したものの。この豪華なコラボレーションは、庶民の購買意欲を大いに掻き立てたことでしょう。

どのシリーズも街道シリーズという枠に収まらず、歌川派における役者絵の第一人者・三代豊国の本領が存分に発揮されています。広重作品とは一味違う、三代豊国の「人物」と「街道」の世界をお楽しみください。



「木曾六十九駅」

「木曾六十九駅」は、三代豊国が唯一中山道をテーマとしたシリーズです。各宿場風景を背景に、その地に関連する芝居演目の登場人物に扮した役者が描かれます。若手から往年の役者まで、当時の歌舞伎界を彩る役者たちを各図で楽しむことができます。



①

②

④

⑤

歌川広重との合作

「双筆五十三次」と「当盛十花撰」を同時公開

三代豊国と広重は、1枚の作品を二人で手掛ける「合筆」作品を数多く残しています。本展では、東海道シリーズ「双筆五十三次」と、役者と花を取り合わせた「当盛十花撰」をご紹介。二人の得意分野が1枚に盛り込まれた贅沢なシリーズです。



◆その他、幕末から明治期に活躍した豊原国周や、後に三代国貞を襲名する四代歌川国政(後期のみ)など、三代豊国門下の絵師たちの作品を出品。

図版(全て中山道広重美術館蔵)

- ①三代歌川豊国「木曾六十九駅 奈良井 鳥居峠 鬼ヶ嶽」
- ②三代歌川豊国「木曾六十九駅 本山 三浦山 片貝」
- ③三代歌川豊国「木曾六十九駅 八幡 布引山ノ道 難波六郎」
- ④三代歌川豊国「木曾六十九駅 熊谷 熊谷寺 蓮生坊」
- ⑤三代歌川豊国「木曾六十九駅 福島 棧橋 福清」
- ⑥三代歌川豊国/歌川広重「双筆五十三次 御油」
- ⑦三代歌川豊国/歌川広重「当盛十花撰 紫陽花」

Museum Shop News

ミュージアムショップから もっと知りたい「三代歌川豊国」

ミュージアムショップでは、春季特別企画展に出品される三代歌川豊国(初代国貞)の作品が掲載された書籍を取り扱っています。当館オリジナル図録『浮世絵木曾街道三種揃踏』をはじめ、いずれも貴重な書籍です。この機会にぜひお求めください。(価格は変更となる場合があります)



- a. 図録『浮世絵木曾街道三種揃踏』中山道広重美術館発行 2,800円
 - b. 町田市立国際版画美術館監修 渡邊見解説『謎解き浮世絵叢書 三代豊国・初代広重 双筆五十三次』二玄社発行 2,200円
 - c. 太田記念美術館監修 日野原健司著『歌川国貞 これぞ江戸の粋』東京美術発行 2,750円
- ※価格はすべて税込

令和6年度連続講座受講生募集

「黄金期の浮世絵出版界」

天明・寛政期(1781-1801)の約20年は、江戸町人文化の隆盛と共に美人画や役者絵などの浮世絵版画が目覚ましく発展したことから「浮世絵黄金期」と称されています。貸本屋から始まり、数々のヒット作を生み出した名プロデューサー、蔦屋重三郎(1750-97)。八頭身の理想美を追究した鳥居清長(1752-1815)と、女性の心情に迫る大首絵を手掛けた喜多川歌麿(1753-1806)。歌舞伎役者の個性を似顔で表現した勝川春章(1726?-93)と初代歌川豊国(1769-1825)。同じく役者絵で知られるも、依然として謎の多い東洲斎写楽(生没年不詳)。そして、森羅万象に挑んだ葛飾北斎(1760-1849)。本連続講座では、18世紀末を代表する版元や浮世絵師たちを各回取り上げ、華やかに展開した浮世絵黄金期への理解を深めます。

〈講座日程・内容〉

春季講座	〈第1回〉2024(令和6)年4月13日(土) 「蔦屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」 池田 芙美氏(サントリー美術館主任学芸員)
	〈第2回〉5月11日(土) 「喜多川歌麿を味わう」 山本 ゆかり氏(多摩美術大学講師/川崎・砂子の里資料館学芸員)
	〈第3回〉6月8日(土) 「勝川春章と歌川豊国 役者絵の発展」 渡邊 晃氏(太田記念美術館上席学芸員)
秋季講座	〈第4回〉9月7日(土) 「江戸のヴィーナス 鳥居清長の美人画」 田辺 昌子氏(千葉市美術館副館長)
	〈第5回〉10月5日(土) 「葛飾北斎 知られざる顔」 日野原 健司氏(太田記念美術館上席学芸員)
	〈第6回〉11月9日(土) 「東洲斎写楽研究の現状」 浅野 秀剛氏(大和文華館館長)

※所属・肩書等は2024年1月時点。日程・内容等を変更する場合がございます。

場 所: 中山道広重美術館 講座室(3F)

時 間: 各回 午後1時30分~3時30分(予定、質疑応答を含む)

受講料: 4,000円(全6回)

- ・講座生は中山道広重美術館友の会一般会員の特典が受けられます。
- ・当日空席が発生した場合のみ単独受講が可能です。(1回500円、観覧料別、予約不可)

【お申し込み方法】

美術館受付に備え付けの申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて直接ご提出ください。お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けています。なお、定員(50名)になり次第締め切ります。

お申し込み・仮申し込み受付開始: 2024(令和6)年3月7日(木)からお問い合わせ: 中山道広重美術館 TEL(0573)20-0522

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

- 毎週水曜日は観覧無料、フリーウエズデー
〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ
- 毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、
楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちりり村

□ 令和6年度友の会会員を募集します

美術館友の会で心豊かな一年を！

中山道広重美術館では友の会会員を募集しています。美術館をもっと楽しんでいただくための各種特典が満載。美術と共に心豊かな暮らしを楽しんでみませんか。

■ 会員の種別と特典

〔一般会員〕

- ① 展覧会（企画展および特別企画展）の通年無料観覧
- ② 同伴者2名まで割引観覧
- ③ ミュージアムショップの5%割引（一部除外商品あり）
- ④ 展覧会広報物や会員限定ニュースレターの送付
- ⑤ 会員限定イベント（年1回程度）へご招待
- ⑥ 展覧会関連イベントおよび次年度連続講座の先行予約受付
- ⑦ 招待券進呈（10枚）

〔賛助会員〕

一般会員の特典に加えて、

- ⑧ 同伴者2名まで観覧無料
- ⑨ 当年に図録を発行した場合、1冊進呈

■ 年会費

会員種別	区分	年会費
〈一般会員〉	一般	3,000円
	学生	2,000円
〈賛助会員〉	個人・法人・団体（一口）	8,000円

■ お申し込み方法

美術館に備え付けの申込用紙に記入後、美術館受付で会費を添えてお申し込みください。（学生の方は学生証をご提示ください）お電話や当館ホームページのお問い合わせフォームからの仮申し込みも受け付けます。

■ その他

会員資格は毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間です。

- ※ 中途脱会される場合、会費の払い戻しはありません。
- ※ ご入館の際は必ず受付に会員証をご提示ください。
- ※ 連続講座受講生は、受講料のお支払いにより自動的に友の会一般会員となります。別途入会手続きは必要ありません。

皆さまのご入会をお待ちしております。



□ 美術館ボランティアを募集しています

美術館ボランティアを始めてみませんか。

中山道広重美術館では、年間を通じてさまざまな形で館の活動にご協力いただけるボランティアスタッフを随時募集しています。活動をしていただくと、展示解説の事前学習、ボランティア研修会などに参加する機会ができ、仲間の輪が広がります。

■ 活動内容

- ・ 浮世絵ナビルームの案内、体験コーナーの補助や説明
 - ・ 来館者への館内説明、展示解説・広報物の発送作業
 - ・ 展覧会会場設営の補助、展示室での監視
- ※ 交通費・昼食費などの金銭的な報酬はありません。

■ 活動条件

- ・ おおむね週1日以上活動できる方
 - ・ 活動を始める前にボランティア養成講座を受講できる方。
- ※ 養成講座は随時開講します。詳しくはお問い合わせください。
- ▲ その他、館周辺の美化活動、生け花など、さまざまな形で活動されている方もいらっしゃいます。

■ お申し込み方法

ボランティア活動に興味をお持ちの方は直接ご来館いただくかお電話または当館ホームページのお問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせください。

□ 第20回広重賞恵那市子ども版画コンクール作品展 広重賞に「レトロな廊下」

第20回広重賞恵那市子ども版画コンクールには市内33の子ども園・保育園・小中学校・支援学校から2,294点の応募があり、このうち172点が入賞・入選しました。主な入賞作品は、広重賞「レトロな廊下」（中学1年生）、市長賞「海で一番巨大なカメラ」（小学3年生）、市議会議長賞「くじらの逃避行」（中学1年生）などです。受賞された皆さま、おめでとうございます。作品展は当館展示室2（2F）で3月17日（日）まで開催されます。



左：【広重賞】
「レトロな廊下」（中学1年生）
右上：【市長賞】
「海で一番巨大なカメラ」（小学3年生）
右下：【市議会議長賞】
「くじらの逃避行」（中学1年生）

■ 令和6年度中山道広重美術館フリーウエンスデー・フリーフライデー スポンサー企業のご紹介

令和6年度（2024）は以下スポンサー各社のご協賛により、開館日の毎週水曜日、毎週金曜日とはなたも無料で展覧会をご覧いただけます。

協賛企業

FREE WEDNESDAY 毎週水曜日は観覧無料、フリーウエンスデー
〈スポンサー〉(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ

FREE FRIDAY 毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちこり村



中山道広重美術館
〒509-7201
岐阜県恵那市大井町 176-1
TEL(0573)20-0522 FAX(0573)25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
* JR 中央線恵那駅から直進徒歩約5分
* 中央自動車道恵那インターから約5分
ウェブミュージアムショップ↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>

美術館ホームページ

hiroshige_ena

ウェブミュージアムショップ

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～
2024年10月14日（月・祝）～11月24日（日）